

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】令和5年6月20日(2023.6.20)

【国際公開番号】WO2023/286859

【出願番号】特願2022-571875(P2022-571875)

【国際特許分類】

H 0 1 L 3 1 / 0 4 8 (2 0 1 4 . 0 1)

C 0 9 K 3 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

【 F I 】

H 0 1 L 3 1 / 0 4 5 6 0

C 0 9 K 3 / 1 0 Z

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月22日(2022.11.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

オレフィン系樹脂をベース樹脂とする太陽電池モジュール用封止材シートであって、
J I S K 6 3 0 0 - 2 : 2 0 0 1 に準拠し、温度150 で測定したときの25分後のトルク値が0.25 N・m以上0.60 N・m以下であり、
水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフィー分析によるアウトガスのピーク面積の合計が50000 pA・sec以下である、太陽電池モジュール用封止材シート。

【請求項2】

前記太陽電池モジュール用封止材シートに含まれる全樹脂成分100質量部に対して、前記オレフィン系樹脂の含有量が75質量部以上である、請求項1に記載の太陽電池モジュール用封止材シート。

30

【請求項3】

エチレン-酢酸ビニル共重合体を含まない太陽電池モジュール用封止材シートであって、
J I S K 6 3 0 0 - 2 : 2 0 0 1 に準拠し、温度150 で測定したときの25分後のトルク値が0.25 N・m以上0.60 N・m以下であり、
水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフィー分析によるアウトガスのピーク面積の合計が50000 pA・sec以下である、太陽電池モジュール用封止材シート。

【請求項4】

前記オレフィン系樹脂の温度190でのメルトマスフローレート(MFR)が30g/10分以下である、請求項1から請求項3までのいずれかの請求項に記載の太陽電池モジュール用封止材シート。

40

【請求項5】

オレフィン系樹脂をベース樹脂とする太陽電池モジュール用封止材組成物であって、
J I S K 6 3 0 0 - 2 : 2 0 0 1 に準拠し、温度150 で測定したときの25分後のトルク値が0.25 N・m以上0.60 N・m以下であり、
水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフィー分析によるアウトガスのピーク面積の合計が50000 pA・sec以下である、太陽電池モジュール用封止材組成物。

【請求項6】

前記太陽電池モジュール用封止材組成物に含まれる全樹脂成分100質量部に対して、

50

前記オレフィン系樹脂の含有量が75質量部以上である、請求項5に記載の太陽電池モジュール用封止材組成物。

【請求項7】

エチレン-酢酸ビニル共重合体を含まない太陽電池モジュール用封止材組成物であって、
JIS K 6300-2:2001に準拠し、温度150 で測定したときの25分後のトルク値が0.25 N・m以上0.60 N・m以下であり、
水素炎イオン化検出器を用いたガスクロマトグラフィー分析によるアウトガスのピーク面積の合計が50000 pA・sec以下である、太陽電池モジュール用封止材組成物。

【請求項8】

前記オレフィン系樹脂の温度190 でのメルトマスフローレート(MFR)が30g/10分以下である、請求項5から請求項7までのいずれかの請求項に記載の太陽電池モジュール用封止材組成物。

【請求項9】

請求項1から請求項3までのいずれかの請求項に記載の太陽電池モジュール用封止材シートの架橋体を有する、太陽電池モジュール。

10

20

30

40

50